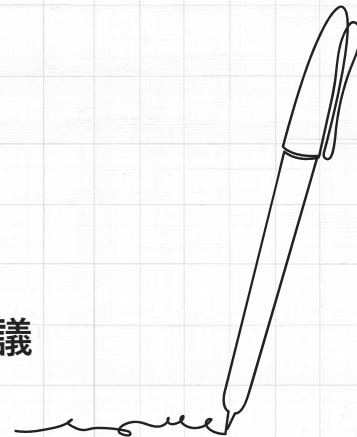


令和7年度 多摩市若者会議報告書

令和8年 3月24日 合同会社MichiLab / 多摩市若者会議



多摩市若者会議

ワークショップ・フィールドワーク

ワークショップ・フィールドワーク

内容	開催日	場所	参加人数	頁
オリエンテーション (はじめての方の限定 多摩市若 者会議ワークショップ)	2025年4月18日 (金) 19:00-21:00	パルテノン多摩 クリエイティブラボ	4名	4
第1回若者会議	2025年5月30日 (金) 19:00-21:00	パルテノン多摩 会議室1	35名	6
フィールドワーク	2025年9月6日 (土) 14:00-16:30	多摩中央公園周辺	9名	8
第2回若者会議	2025年9月19日 (金) 19:00-21:00	パルテノン多摩 会議室1	20名	10
第3回若者会議	2025年11月7日 (金) 19:00-21:00	パルテノン多摩 会議室1	18名	13
プロジェクト作戦会議	2026年2月13日 (金) 19:00-21:00	グリーンライブセンター ライブホール	8名	16
合 計			94名	

2025年4月18日(金)

多摩市若者会議オリエンテーション



今年度の「多摩市若者会議」のキックオフとなる、はじめての方限定のワークショップを開催しました。

このワークショップは、1年間にわたる活動のオリエンテーションを兼ねたもので、多摩市若者会議に初めて参加する方々と、現役メンバーである高校生から大学1年生までの若者が参加しました。

今回のワークショップでは、「多摩市でやってみたいこと」「こんな場所があったらいいな」をテーマに、付箋を使って自由にアイデアを出し合いました。

2025年4月18日(金)

アイデア一覧



○自然・公園を活かした遊び

「中央公園で全力おにごっこ・運動会」「ふれあい動物園」「多摩川での川遊びや流しそうめん」「バーベキュー (BBQ)」など、多摩市の豊かな自然を使い倒したいという声が多く上がりました。

○交流・コミュニティの場

「多摩市の人とつながる日の出づくり」「異世代交流」「おじさんカードゲーム」「サードプレイス (子ども食堂など)」といった、孤独を解消し、誰かとつながれる温かい居場所を求める意見が目立ちました。

○ユニークな体験・イベント

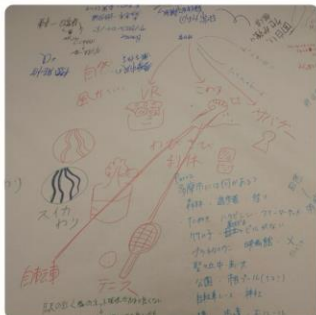
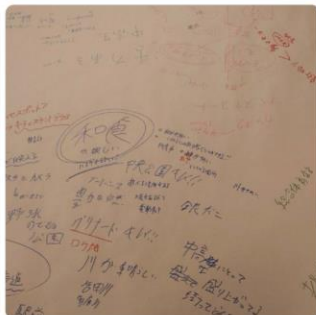
「マンホールカードゲーム」「たまっこタウン (子どもが運営するまち)」「学校の授業を全部将来に役立つものにする」「出前授業でのカラオケやサッカー」など、既存の枠にとらわれないユニークな発想が光りました。

○日常を楽しくする仕組み

「フォトコンテスト」「フリマ」「誰でも試合ができる環境」「市役所をもっと身近に (きづらい場所を楽しく)」など、日々の生活をアップデートするアイデアもたくさん出されました。

2025年5月30日(金)

第1回多摩市若者会議ワークショップ



小学生から社会人まで様々な年代の方、合計35人が集まり、多摩市でやりたいことや多摩市の魅力について語りあいました！

今回のワークショップでは「ワールドカフェ」手法を採用しました。リラックスした雰囲気の中で、参加者がテーブルを移動しながら対話を重ねることで、個人のアイデアが他の参加者の視点と混ざり合い、「化学反応」のように新たな価値観や具体的なプロジェクト案へと進化していくプロセスを重視しました。

2025年5月30日(金)

アイデア一覧

【ワークショップで出された意見・アイデア】

■多摩市には何がある？

商業・娯楽施設

- ・サンリオピューロランド（多摩センター）
- ・映画館（「耳をすませば」上映イベントもあり）
- ・カラオケ
- ・ボウリング（永山）
- ・居酒屋

自然・公共施設

- ・多摩中央公園
- ・市民プール
- ・森林、遊歩道
- ・自然が豊か（坂が多い）
- ・バーベキューができる場所
- ・神社
- ・自転車レースや運動スペース
- ・道が広く、散歩しやすい

教育・文化

- ・ベネッセ（しまじろう等）
- ・学校（聖ヶ丘中・高、大）
- ・団地とニュータウン（住宅地）
- ・図書館

子育て・地域活動

- ・子ども食堂
- ・マルシェやフリーマーケット
- ・親が交流できる地域イベントが多い

■若者にとって魅力が足りないポイント

- ・可愛いお店が少ない（ショッピング施設にバリエーションがない）
- ・地元で遊ぶ選択肢が1パターンになりがち
- ・制服で入りづらいお店がある
- ・部活後に立ち寄るスポットが少ない
- ・地域のネット環境が発達していない場所も
- ・「映え」重視のカフェや施設がもっと欲しい

■多摩市でやりたいこと！

- ・永山グリナード横を、若者が来やすいイベントなど開催して盛り上げる！（グリ横）
- ・おしゃれでインスタ映えするピクニック「おしゃピク」を公園で開催する！
- ・川を中心とした、居心地の良い居場所づくりをする！
- ・和食のお店を増やす！
- ・七色に光るバスケットを作る！（中高生や大人向けの）
- ・物ぶっ壊し体験ができる施設で物を壊しまくる！

2025年9月6日(土)

多摩市若者会議フィールドワーク



公共空間の新しい可能性を探るフィールドワークを実施しました。今回は、多摩中央公園を中心に歩きながら、地域の魅力や課題を観察しました。終了後は未知カフェに集まり、振り返りとアイデア共有のワークショップを行いました。

2025年9月6日(土)

アイデア一覧

■気づき・発見

フィールドワークの様子

○公園コースの様子

中央公園やパルテノン多摩、中央図書館周辺を回遊しながら、参加者が感じたことや新たに見つけた可能性を出し合いました。特に次のようなアイデアが活発に議論されました。

○イベント・賑わいづくり

大広場を使ったコンサートやフリーライブ、大通りの特設スペースを活用した七色に光るボドゲ・麻雀、中央の池で大人のカヌー体験、など。

○空間の魅力向上

芝生エリアを活かしたBBQやフェス、大階段や林の道で夜間のライトアップ演出（灯籠流しやキャンドルナイト）、芝生で楽器演奏、など。

○多世代で楽しめる仕掛け

子どもが遊べる水遊び企画（水鉄砲でサバゲー）、星空観察会や公園全体を活用した謎解き・没入型の脱出ゲームなど体験型プログラム、など。

■参加者の気づき

普段は「ただ通り過ぎる場所」だった公園も、視点を変えて観察すると「人が集まり、学びや交流を生み出す舞台」になることが確認できました。特に、夜間や水辺と連動させたイベントは、新たな魅力づけにつながるとの意見が多く寄せられました。

■まとめ

今回のフィールドワークでは、公園のポテンシャルを再認識し、若者ならではの発想から数多くのアイデアが生まれました。これらをもとに、今後の具体的な提案やまちづくり活動につなげていきます。

2025年9月19日(金)

第2回多摩市若者会議ワークショップ



学生から社会人まで様々な年代の方、合計20人が集まり、多摩市でやりたいことや「多摩市でやってみたいこと」について考えました！今回は第1回ワークショップやフィールドワークを踏まえ、アイデアを具体化しました。

第1回に引き続き「ワールドカフェ」手法を採用しました。リラックスした雰囲気の中で、参加者がテーブルを移動しながら対話を重ねることで、個人のアイデアが他の参加者の視点と混ざり合い、「化学反応」のように新たな価値観や具体的なプロジェクト案へと進化していくプロセスを重視しました。

2025年9月19日(金)

アイデア一覧

■ワークショップから出た意見・アイデア

①中央公園で休日を過ごし、非日常体験！

多摩中央公園を活用して、様々なイベントを週替わりで行うことで、まちを盛り上げる。

普段できない体験をすることで、「非日常感」につなげる。

〈キーワード〉

- ・キャンプ
- ・昆虫探し
- ・楽器体験
- ・ジブリの聖地巡礼
- ・流しそうめん

②七色麻雀 ⇒10/25 (土) 実施決定

音と光で雀卓を七色に光らせ、多摩センターのイルミネーションと共鳴し、楽しむ。麻雀をみんなで囲むことで、コミュニティが形成され、コミュニケーションの活性化につなげる。

〈キーワード〉

- ・麻雀
- ・七色、光
- ・コミュニケーション

③イベント好きを集客！

団地の空き店舗などを活用し、働く人・地域住民が交流できるイベントやスタンプラリーなどを実施する。「何かをやりたい人」がふらっと集まることのできる場をつくる。

知らない人が集まり、共通のテーマで市内の散歩にチャレンジしてみたい！

〈キーワード〉

- ・団地
- ・交流会、イベント
- ・誰かの居場所づくり
- ・集まれる場
- ・ピクニック

2025年9月19日(金)

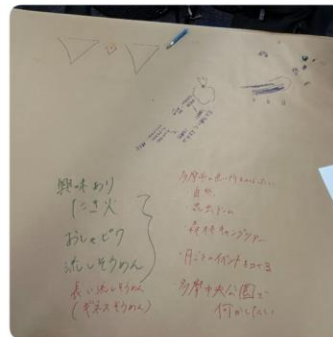
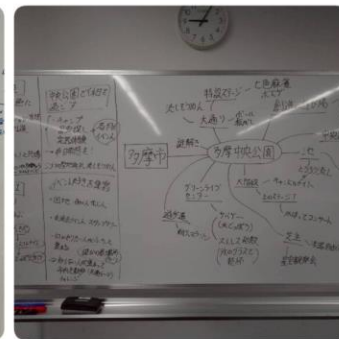
アイデア一覧

④HIASOBI ⇒11/2(日)にNeo HIASOBI 実施決定
⇒~~11/23(日)にHIASOBI 実施決定(3/22予定)~~

「火」を使った魅力的な企画を一連を通して実施する。
モルックを手作り→モルックで遊ぶ→使った木を燃やして焚火→焚火を
使ってキャンドルナイト→水鉄砲を使い、相手のキャンドルを消すゲームの
開催→火が消えた夜空で天体観測

〈キーワード〉

- ・火
- ・モルック
- ・焚火
- ・キャンドルナイト
- ・サバゲー
- ・天体観測



2025年11月7日(金)

第3回多摩市若者会議ワークショップ

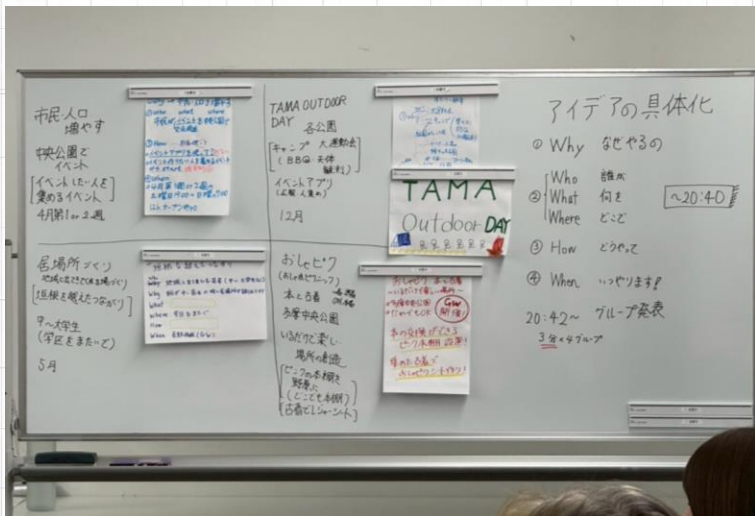


学生から社会人まで様々な年代の方、合計18人が集まり、「多摩市でやってみたいこと」について考えました！

今年度最後のワークショップということもあり、第1回・第2回よりも具体的なアイデアや意見が集まり、プロジェクト化に繋げることができました。第3回ワークショップ終了後、すぐに動きだしたグループもあるそうです・・・！！

2025年11月7日(金)

アイデア一覧



■ワークショップから出た意見・アイデア

①若者の居場所づくり～地域に出てきてくれる場づくり～

若者の「垣根を超えたつながり」のために、居場所づくりを考えました。きっかけは、自分たちが中高生だったときに、「こんな場所があったら良かった」と思う場所を意識しつつ考えました。そして、普段地域に出る機会がない学生が、地域に出てくれるような場を提供したいです。

〈キーワード〉

居場所づくり、学区をまたぐ、つながり

②中央公園でイベント～市民・人口を増やす～

「市民の人口を増やす」をテーマに、多摩市ならではの強みをPRしていきたいと考える。市民が主体となって、最終的には、中央公園でイベントを目指し、そのための「イベント企画するためのイベント」を開催したいと考えています。誰もが気軽に参加できるように、〇時～〇時まで12時間オープン参加で開催できればと思っています。

〈キーワード〉

市民、人口、中央公園、イベント、イベントアプリ、交流促進

2025年11月7日(金)

アイデア一覧



③TAMA OUTDOOR DAY

「TAMA OUTDOOR DAY」の中身は、昼間は各公園で運動会を開催し、夜は焚火やBBQを開催したいと考えている。（自然・キャンプ・運動会をキーワードに）イベントの周知については、アプリなどを通じて市民に周知していきたいと考えています。

〈キーワード〉

大運動会、BBQ、天体観測、自然、公園の活用、焚火
キャンプ、イベントアプリ

④おしゃピック（おしゃれピクニック）

「いるだけで楽しい場の創造」を目指し、おしゃピックを開催したいと考えている。私たちのおしゃピックは本×古着をテーマに考えています。多摩中央公園の野原に巨大にピンクの本棚を設置し、誰でも参加できる本の交換会を設置し、集めた古着でおしゃピックシートを作って、交流の場を作りたいです。

〈キーワード〉

ピクニック、本と古着、ピンクの本棚、いるだけで楽しい場
多摩中央公園

2026年2月13日(金)

プロジェクト作戦会議

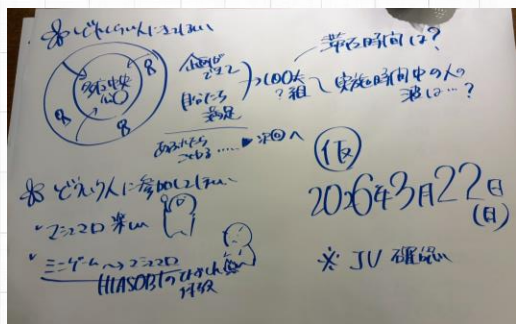
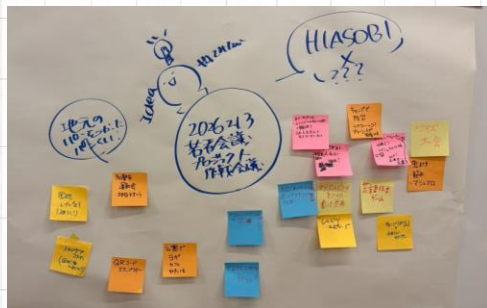
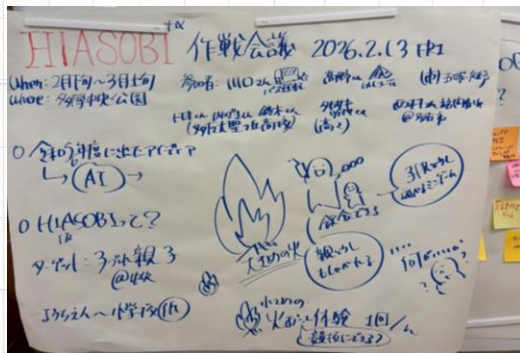


これまでのワークショップで出たアイデアの実践に向けて、プロジェクト化を目的として開催しました。

過去3年のワークショップで出されたアイデア・進行中アイデアの共有の後、やってみたいことを意見交換、「HIASOBI」プロジェクトのプロジェクト化に向け、企画を具体化しました。

2026年2月13日(金)

プロジェクト作戦会議



■企画名：HIASOBI

■開催時期：3月中旬

■場所：多摩中央公園（多摩センター）

■企画内容

①焚火台を使用して、火おこし体験を実施

②焚火を使って、軽食をみんなで楽しむ

③ミニゲーム：火消し体験、クイズ大会？、

大人も参加できる企画も考えたい

プロジェクト実践

若者のまちづくりプロジェクト

2025年8月16日(土)

折り紙魚つりワークショップ (協力)



グリーンライブセンターの夏休み子ども向け企画の一つを、企画・チラシ作成及び当日の運営補助を若者会議メンバーにて担当しました。(コアメンバーによる企画)



日時	2025年8月16日(土)
会場	多摩市立グリーンライブセンター
協働先	多摩市立グリーンライブセンター

2025年10月11日(土)・12日(日)

多摩ランタンフェスティバル2025 出張MichiCafe



多摩ランタンフェスティバル2025豊ヶ丘南公園会場に出張MichiCafeキッチンカーを出店しました。

出店希望の少ない同会場にて、MichiLab（地域協創事業）・一般社団法人ハピプラと共に出店しイベントの盛り上げに協力しました。

（コアメンバー企画）

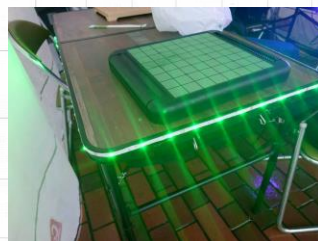
日時	2025年10月11日(土)・12日(日)
会場	豊ヶ丘南公園
協働先	日本総合住生活株式会社

2025年10月25日(土)

七色ポドゲ



第2回ワークショップで出された七色麻雀のアイデアを「七色ポドゲ」として、多摩センターハロウィンに誰でも立ち寄りゲームできるスペースをつくりました。当日は雨天でテントから雨が漏る中での実施となりました。



日時

2025年10月25日(土)

会場

パルテノン大通り

協働先

-

2025年11月2日(土)

NEO HIASOBI



第2回ワークショップで出されたアイデアをときめきフェス（社会実験）にて実施しました。

公園の芝生エリアでのモルック体験、公園発生材を活用したモルック製作、焚火を組み合わせた企画です。さらに、本企画をもとにステップアップしたHIASOBI企画を実施予定です。

日時

2025年11月2日(土)

会場

豊ヶ丘第5公園

協働先

-

2025年11月16日(日)

こぶし館まつり出店・運協企画運営協力



多摩市若者会議としてこぶし館まつりに「千本引き」企画を出店した他、こぶし館運営協議会企画のこどもコーナーの運営も支援しました。(コアメンバー企画)

朝のテント張りから準備に参加。冷え込む朝でしたが、地域のお兄様・お姉さま方に優しく教えていただきながら、安全第一で設営を進めました。世代を超えて協力し合う時間は、あたたかい空気を象徴するひと幕となりました。

千本引きくじは開店と同時に多くの子どもたちが列をつくり、笑顔いっぱい楽しんでくれました。なんと、午前中のうちに早々に売り切れとなるほどの大盛況！来年は、もっとたくさん準備して皆さんに楽しんでいただけるように工夫していきたいです。



日時	2025年11月16日(日)
会場	貝取こぶし館
協働先	貝取こぶし館運営協議会

2026年1月24日(土)

開発者と歩く多摩ニュータウンフィールドワーク



日本住宅公団職員として長年多摩ニュータウン開発に携わってきた(株)都市設計工房 成瀬恵宏氏に案内を頂きながら若葉台駅から多摩センター駅まで多摩ニュータウン稲城市域・多摩市域を歩く企画を実施しました(コアメンバー企画)。

成瀬さんが大きなニュータウンの地図を随時開きながら颯爽と案内をして下さりました。毎秒新しい知識を授けて下さり、大充実の一日になりました。ここで教わったニュータウンの知識を次の世代に繋いでいくことが私たちの役目だと思います。

日時	2026年1月24日(土)
会場	多摩ニュータウン (稲城市・多摩市域)
協働先	(株)都市設計工房 成瀬恵宏氏

2025年11月17日(月)～

おしゃピク (おしゃれピクニック)



「いるだけで楽しい場の創造」を目指し、本×古着をテーマに「おしゃピク」を開催したい。ピンクの本棚と古着を使ったパッチワークの布を使い、中央公園に「映えるスポット」に向けた作業を進めました。その他、MichiCafeを活用し月1回程度の打合せをしています。

来年度は、実際に中央公園でのイベントを企画する予定です。



活動日	内容
1月25日(日)	・ 廃材を使った本棚の設計・組み立て ・ 古着のパッチワーク作業①
2月21日(土)	・ 本棚のペンキ塗り ・ 古着のパッチワーク②
3月22日(日)	・ 中央公園でのプレ企画

2026年3月20日(祝)

八角堂ヨムカムマルシェ (協力)

シール交換会



シール交換会



MichiLabとして参加している八角堂ヨムカムマルシェ 豊ヶ丘南公園会場のうち、シール交換会&シールづくりワークショップのアイデア・企画立案から当日運営まで担当しました。

当日はあいにくの雨天にも関わらず、130名もの方にワークショップにご参加頂きました。

ニュータウンのシールづくりワークショップ



シールづくりの様子



シール作成例

日時	2026年3月20日(祝)
会場	豊ヶ丘南公園
協働先	日本総合住生活株式会社、一般社団法人ニューマチツクリシャ
来場者	シールづくり：130名 シール交換会：120名

2026年3月22日(日)

HIASOBI (焚火を用いた交流イベント企画)



左上：モルック
右上：マシュマロ焼き
中左：火起こし体験
中右：じゃんけん列車
下左：受付の様子

多摩中央公園で高校生が主体となって企画をした「HIASOBI」を実施しました。本企画は焚火を用いた交流の場として、焚火によるマシュマロ焼き、火付け体験、モルック体験、ミニゲームなどを実施しました。当日は、子どもを中心として多くの人にお越しいただき、会場は大変にぎわいました。

日時	2026年3月22日
会場	多摩中央公園 (遊びの森)
来場者	マシュマロ焼き：約417人 (139組) 火付け体験：約66人 (22組) モルック体験：約75人 (25組) レクチャーゲーム：未計測

その他



2022年に多摩リズム「たまころりん」PJで製作したガチャガチャマシンが金毘羅神社「恋みくじ」販売機として桜ヶ丘ロータリー和桜前に常設化



6月よりMichiCafeを会場に高校生のグループ（一般社団法人ハピプラ）によるこども食堂がスタート。毎週月曜開催。

日付順活動履歴

INDEX

日付順活動履歴

No	日付	内容	場所	項
1	4/18	はじめての方の限定 多摩市若者会議ワークショップ	パルテノン多摩 クリエイティブラボ	4
2	5/30	第1回若者会議ワークショップ	パルテノン多摩 第1会議室	6
3	7/26	中野若者会議との交流	MichiCafe	-
4	8/16	折り紙さかなつりWORKSHOP(協力)	グリーンライブセンター	19
5	9/6	多摩市若者会議フィールドワーク	多摩センター駅周辺	8
6	9/19	第2回多摩市若者会議ワークショップ	パルテノン多摩	10
7	10/11・12	多摩ランタンフェスティバル2025 出張MichiCafe	豊ヶ丘南公園	20
8	10/25	七色ポドゲ	パルテノン大通り	21
9	11/2	NEO HIASOBI	豊ヶ丘第5公園	22
10	11/7	第3回多摩市若者会議ワークショップ	聖蹟桜ヶ丘駅周辺	13
11	11/16	こぶし館まつり 出店・運営協力	貝取こぶし館	23

日付順活動履歴

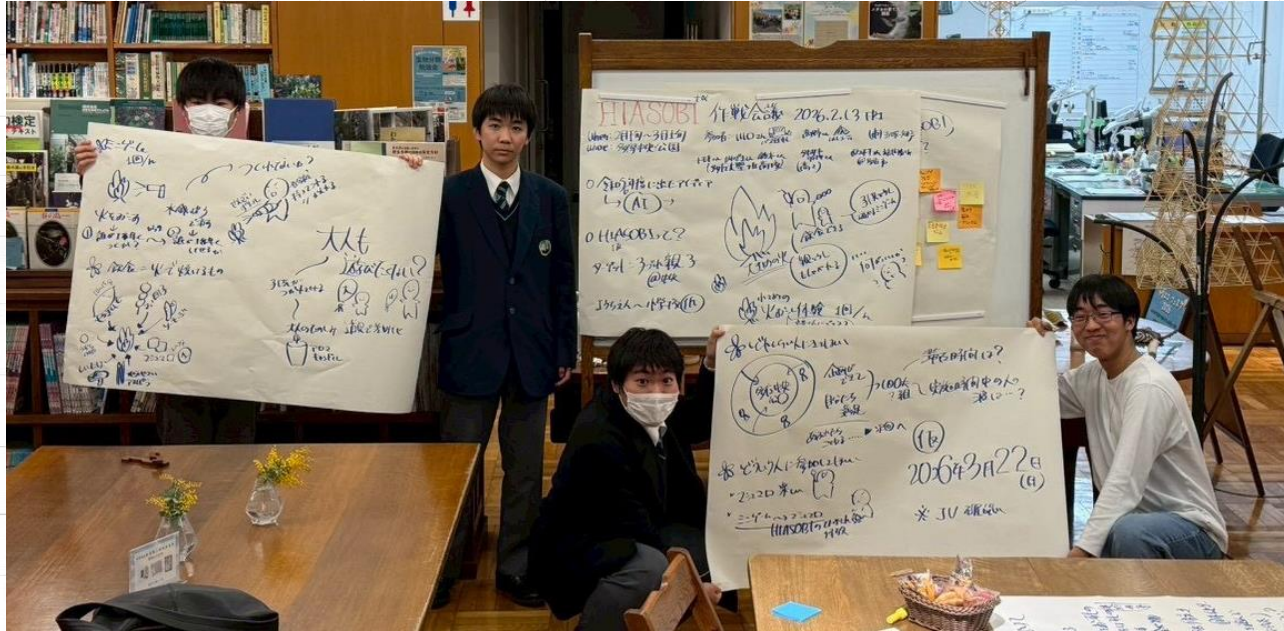
No	日付	内容	場所	項
12	1/11	凧づくりワークショップ&みんなで凧揚げ（協力）	Jsmile多摩八角堂	-
13	1/24	開発者と歩く多摩ニュータウンフィールドワーク	稲城市内・多摩市内	24
14	2/13	プロジェクト作戦会議	グリーンライブセンター	16
15	2/21	パン屋を巡る街歩き（協力）	多摩市内	-
16	2/21	多摩市気候市民会議（協力）	多摩市役所	-
17	3/20	八角堂ヨムカムマルシェ（協力）	豊ヶ丘南公園	26
18	3/22	HIASOBI（予定）	多摩中央公園	27

総括・提言

昨年までと比べワークショップ参加者は減少、各回参加者のリピート率が大幅に高くなったが、ワークショップからコアメンバーに加わる人数は大幅に減少してしまいました。多摩市若者会議では2017年にスタートして以来アイデアの実践はコアメンバー中心に実践してきましたが、今年度は「おしゃピク」・「HIASOBI」プロジェクトで、ワークショップで出されたアイデアの元にゆるく集ったメンバーによりアイデア実践がスタートし、アイデア実践の過程でもさらに仲間が集まって盛り上がっていく形の進行となりました。ゆるく集まって大半がコアメンバーではないものの、アイデアに対してのコミット度は高く、従来はあまり見られなかった現象です。今年度中もこの変化に対応する形で2月に「作戦会議」を実施するなどよりゆるく集った参加者がアイデア実践をしやすい環境をつくれるように配慮を行いました。

このように目的やテーマに共感して集まる「目的型」の参加者の増加に配慮していく為、来年度は1回1回のワークショップの規模は縮小するものの、ワークショップの回数を増やし、ワークショップとワークショップの間にも平日の夜に学校帰りや会社帰りのメンバーがゆるく集まれる場を設け、メンバーの交流やアイデアの進捗をフォローしていきます。

また、従来のコアメンバーの仕組みを改め、若者会議全体の運営に関わるメンバーとゆるく情報をキャッチしたいメンバー、40歳以上で若者会議の場づくりをサポートしたいサポーターメンバーに分ける新しい体制を整備し、来年度10年目を迎える「多摩市若者会議」の新たな10年を支える地盤固めを進めて参ります。



ご清聴ありがとうございました。